

認知症のある人や その家族からの 声や意見の収集

【収集目的】

共生社会の実現に向けて、認知症のある人や家族が感じていること・求めていること・大切にしたいことを関係者で共有し、そこから何ができるか考えていくことが必要である。

日常の何気ない場面や会話の中で発せられた言葉も併せて拾うことで、より多様な意見を集めた。

【意見収集の方法】

アンケートフォームへの入力

認知症地域支援推進員や高齢者あんしん相談センターの職員が、日頃の業務で聴いた認知症のある人や家族、地域の方々の声を入力。

日頃の業務や相談支援の中で聴いた声も収集。

【有効回答数】

250件

資料4-1:「認知症みんなの声グラフ」

見えてきた課題・
ニーズ

資料4-2:「認知症みんなの声分析結果」

資料4-3:「本人・家族・地域の声」

1. 認知症のある人や認知症への理解に関すること

- 対話と受容による安心感
- 能力低下への不安と戸惑い

2. 暮らしや生活環境に関すること

- 外出・移動に伴う生活の障壁
- 家族の日常的な介護負担
- 金銭への不安

3. 地域での社会参加や、人とのつながり・役割に関すること

- 交流の場への肯定的な思い
- 社会的役割を果たすことへのニーズ
- 孤立・人間関係の変化による戸惑い・不安

4. 医療や介護サービスに関すること

- 医療機関・医師に対する抵抗感・不安感
- 介護サービスへの抵抗感と通い後の安心感

5. 相談先や必要な情報を得る方法に関すること

- 相談できる場所があることの安心感
- 情報不足・相談先が分からない不安

6. 意思決定支援・本人の権利に関すること

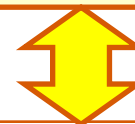
- 本人の意思と過度な支援や先回りした対応への抵抗感
- 安全確保と行動制限のはざま

クロス集計による分析

資料4-4:「みんなの声(クロス集計)」

- 認知症のある人や認知症への理解に関すること
- 暮らしや生活環境に関すること
- 地域での社会参加や、人とのつながり・役割に関すること

この3点に対するニーズが高く、重点的な対策・施策が必要



現状の施策

資料4-5:「八王子市の認知症施策」

- ・ 認知症地域支援相談員の活動支援
- ・ 認知症サポーター養成講座の開催（＋ステップアップ講座）
- ・ 認知症月間などでのイベント開催
本人ミーティングの開催・家族介護者の会への運営支援
- ・ 「みまもりあい」アプリの普及
- ・ 認知症カフェ・「わたぼうし」の運営支援
- ・ 認知症初期集中支援
- ・ BPSDケアプログラム「BPSDアドミニストレーター」の養成
- ・ 認知症初期集中支援